

平成二十五年第二期くまもと俳句ポスト

第二期開函

現代俳句協会会員 星永 文夫 選

特選

それからと言ひて漱石秋扇

千葉県旭市

神田順二

【講評】漱石記念館の座敷に坐れば、秋扇をバシッと打ちながら、漱石先生、「さて、それから…」とちそうな、そんな様が浮かぶという。もちろん『それから』は漱石の名作の一、その蘊蓄をさらりと表出したのがいい。

入選

阿蘇の秋スイッチバックの停まる駅

福岡県福岡市

河野涼子

夢見しやA列車の先初夏の風

熊本県熊本市

吉井巧

今脱ぎしごとく八雲の冬帽子

福岡県筑後市

埴生洋美

佳作

四時軒に韻美しく昼の虫

福岡県春日市

本田久子

夕立ちに八雲居立ち寄り歴史知る

福岡県福岡市

廣重元子

四時軒の格子窓より秋の雲

熊本県熊本市

児玉胡餅

金峰や千年樟の大西日

熊本県熊本市

田中和明

懐かしや八雲の杜の蟬時雨

熊本県熊本市

北里府巳洋

新緑に涼を求めて水前寺

熊本県熊本市

石田人成

くまモンはねがいかなえてくれるかな

福岡県福岡市

廣重董

投句総数

一〇一句

市外

四六句

市内

五五句

開函日 平成二十五年十月三十一日